

大洲市SDGs アクションプログラム



令和7年1月



目 次

No.	項 目	ページ数
1	「これが私のSDGs！新世紀に向かって発進、発信！！」 大洲市長 二宮 隆久	1
2	基本の”き”！そもそも、SDGsとは・・・？？	2
3	大洲市のSDGsアクションプログラムとは・・・？？	2
4	SDGsの17ゴールを分かりやすく！	3
5	大洲市SDGsアクションプログラムを見てみよう！	
6	・目標 1 循環型社会をつくろう ペーパーレスによる環境負荷の削減・・・・・・・・・・・・・・・・ ・目標 2 循環型社会をつくろう グリーン商品の購入による環境負荷の削減・・・・・・・・ ・目標 3 農業の振興を図ろう・・・・・・・・・・・・・・・・ ・目標 4 健康づくりをしよう・・・・・・・・・・・・・・・・ ・目標 5 健康づくりをしよう 福祉を全ての人に・・・・・・・・ ・目標 6 災害に強いまちをつくろう・・・・・・・・ ・目標 7 誰もが働きやすい環境をつくろう・・・・・・・・ ・目標 8 観光まちづくりを進めよう・・・・・・・・ ・目標 9 住み続けられるまちに 暮らしやすくしよう・・・・・・・・ ・目標10 カーボンニュートラルを実現しよう・・・・・・・・ ・目標11 主権者として公平性を進めよう・・・・・・・・ ・目標12 美しく豊かな海を守ろう・・・・・・・・	4- 5 6- 7 8- 9 10-11 12-13 14-15 16-17 18-19 20-21 22-23 24-25 26-27
7	見つけた！今日からやろう！私のSDGs！	28
8	大洲市のSDGsの実現に向けて期待すること 愛媛大学 地域協働推進機構 客員教授 前田 眞	29



これが、私のSDGs！

新世紀に向かって発進、発信！！

私が生まれたのは、20世紀の中頃。時代は、戦後から高度経済成長期へと進化し、さらに第2次ベビーブーム、空前のバブル期とその崩壊、そしてインターネットに代表されるデジタル社会へと激動の波に追われるように21世紀を迎えました。その後、2005年には平成の大合併により、**新**大洲市が誕生しました。さらに時は進み、「平成」から「令和」へと**新**時代に突入し、令和7年1月11日、こうして合併20周年という節目を迎えることができました。

過去の成功と苦難から学び、今を生きる私たちが、無限の可能性を秘めた未来のために、今できることは何か…。このヒントが、合併10周年を記念して制作した大洲市民の歌「100年後僕らは…大洲より」に込められているのかもしれません。

これからの大洲市を想い、目指すべき未来のカタチを考え、それを言葉と行動に変えて行くため、大洲市SDGsアクションプログラムを策定しました。SDGsの主役は、市民のみなさまです。お一人おひとりの普段の暮らしの中にあるのが、SDGsで取り組もうとしているアクションです。未だ見ぬ本市の将来が、今より、きらめきに満ちたものとなるように、一つひとつのゴールを積み重ね、ウェルビーイング(Well-being)なまちづくりを、さあ、一緒に…。Go To **シン**・大洲！



大洲市長 二宮隆久

基本の“き”！そもそも、SDGsとは・・・？？

SDGs*は、2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意したもので、2030年までに、持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、「誰一人取り残さない」ことを誓っています。



*…Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標

大洲市のSDGsアクションプログラムとは・・・？？

大洲市では、専門機関から講師を招いて職員研修を行い、SDGsの理解を深めました。この学びから、市役所内の各課の業務とSDGsの関係性を確認し、行政の取組として、それぞれのゴールに向かって12の目標を立てました。

しかし、行政の機能だけでは限られた効果に留まることから、市民の皆様と一体となり目標を達成できるよう「私たちの 私たちによる 私たちのための SDGs」を提言としてまとめたものがアクションプログラムです。

「聞いたことはあるけど、よく分からない。」、「何をしたらいいか、何から始めればいいのか分からない。」などいろいろな受け止め方があると思います。今までに経験のないことや新しいことを求めるものではありません。いつもの生活、普段の暮らしの中にあるSDGsに気付き、今までよりも少し意識し、行動につなげていただきたいと思います。



SDGsの17ゴールを分かりやすく！

SDGs アイコン	アイコンの解説	SDGs アイコン	アイコンの解説	SDGs アイコン	アイコンの解説
1 貧困をなくそう 	地球上のあらゆる形の貧困をなくそう	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	安くて安全で現代的なエネルギーをずっと利用できるようにしよう	13 気候変動に 具体的な対策を 	気候変動から地球を守るために、今すぐ行動を起こそう
2 飢餓を ゼロに 	飢えをなくし、栄養のある食料を十分に手に入れられるよう、地球の環境を守り続けながら農業を進めよう	8 働きがいも 経済成長も 	みんなの生活を良くする安定した経済成長を進め、人間らしく生産的な仕事ができる社会を作ろう	14 海の豊かさを 守ろう 	海の資源を守り、大切に使う
3 すべての人に 健康と福祉を 	健康で幸せな生活を送るようにしよう	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう 	災害に強いインフラを整え、新しい技術を開発し、みんなに役立つ安定した産業化を進めよう	15 陸の豊かさも 守ろう 	陸の豊かさを守り、砂漠化を防いで、多様な生物が生きられるように大切に使う
4 質の高い教育を みんなに 	公平に、良い教育を受けられるように、また一生に渡って学習できる機会を広めよう	10 人や国の不平等 をなくそう 	世界中から不平等を減らそう	16 平和と公正を すべての人に 	平和で誰もが受け入れられ、全ての人が法や制度で守られる社会をつくらう
5 ジェンダー平等を 実現しよう 	男女平等を実現し、全ての女性と女の子の能力を伸ばし可能性を広げよう	11 住み続けられる まちづくりを 	ずっと安全に暮らせて、災害にも強いまちをつくらう	17 パートナリシップで 目標を達成しよう 	世界の全ての人がみんな協力しあい、これらの目標を達成しよう
6 安全な水とトイレ を世界中に 	安全な水とトイレを利用できるようにし、自分たちでずっと管理していけるようにしよう	12 つくる責任 つかう責任 	生産者も消費者も、地球の環境と人々の健康を守れるよう、責任ある行動をとろう		SDGsカラーホイール…全ての目標がひとつになり、統合されている印象のある太陽のような形状



① 循環型社会をつくろう

・ペーパーレスによる環境負荷の削減

☑行政の取組



達成目標	指標項目	指標（KPI）		取組内容
		基準値（R4）	目標値（R8）	
庁内会議・研修のペーパーレス化を図る	ペーパーゼロの会議・研修を1回以上実施した部署の割合	〔タブレットやモニターの使用などペーパーゼロ会議運営のルール化と、実績調査を行います〕	100%	庁内会議や研修会のペーパーレス化を目指します
業務で使用するコピー用紙を削減する	複合機印刷のカウント数	7,687,499枚/年 参考値（R5） 7,919,854枚/年	6,918,749枚/年 （R4対比10%減少）	〔印刷枚数削減に取り組みます 電子決裁導入の検討を進めていきます〕
知ってる♪ようで、知らない!？情報・・・	大洲市議会では、令和5年度からタブレット端末を導入しています♪多量な資料も、過去の資料等も、持ち運びが出来、いつでも確認することが可能となりました。さらに、各種連絡や伝達事項の変更なども、ペーパーレスでスムーズになりました!？			



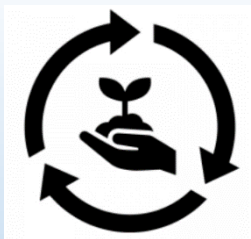
① 循環型社会をつくろう

・ペーパーレスによる環境負荷の削減



私たちの 私たちによる 私たちのための S D G s

No	これからやってみよう！！	期待できる成果↑	S D G s のゴール
1	■ 印刷物に頼らず市の情報入手するため、大洲市公式LINEに登録してみよう 大洲市公式LINE QRコード 	・健康や教育、イベント等に関する情報をその場でスムーズに得られる ・ラインで届く情報を見て、市政やイベント等に参加する機会を確認できる	3 すべての人に健康と福祉を 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
2	■ 電子手続きを活用しよう（愛媛電子申請システム、コンビニ交付、確定申告、マイナンバー）	・移動や手続き時間の短縮ができ、ペーパーレス化につながる ・マイペースで利用できる余裕が持てる	10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを
3	■ 地域の会合等で使う資料を見直してみよう ・共通のアプリを共有して、グループで活用してみよう	・便利で豊かな生活が送れるよう工夫することができる ・紙の削減により小さな森林保全の活動につなげられる	15 陸の豊かさも守ろう



② 循環型社会をつくろう

・グリーン商品の購入による環境負荷の削減

☑行政の取組

12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



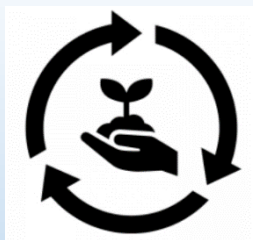
14 海の豊かさを
守ろう



15 陸の豊かさも
守ろう



達成目標	指標項目	指標 (KPI)		取組内容
		基準値 (R4)	目標値 (R8)	
職員に対してグリーン購入法適合の表示物品の購入意識率を設定すると同時に、市役所内の各種備品を購入する際の取扱率の向上させる	グリーン購入法適合表示物品の購入意識率及び取扱率	〔グリーン購入に関する職員の意識調査を行い、現況把握を行います〕	80%	グリーン購入に関するアンケートの結果と併せて制度概要を周知することで、職員の意識向上を図ります 各種イベント等での啓発活動を行います
グリーン購入とは？・・・ ①購入の必要性を考え、②必要な場合は品質や価格だけではなく、できるだけ環境への負荷の少ない製品やサービスを、③環境負荷の低減に努める事業者から優先的に購入することです！		例えば、  このマークがついている商品の購入のこと♪		



② 循環型社会をつくろう

・グリーン商品の購入による環境負荷の削減



私たちの 私たちによる 私たちのための S D G s

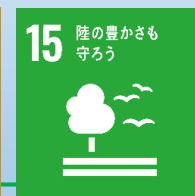
No	コレからやってみよう！！	期待できる成果↑	S D G s のゴール
1	■ 使い終わった後にゴミの少ない物を選ぼう	・一人当たりのゴミを減らすことができる ・CO2排出を減らし、海の酸化を止めることができる	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 12 つくる責任 つかう責任
2	■ 包装の少ない物を選ぼう	・森林の破壊を抑え、成長へつなげることができる	13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう
3	■ ゴミは正しく分別するようにしよう	・自分の生活ゴミを見直すことができる ・買い物の時に少し考える意識ができる ・自分の生活を地球規模で考える視野を持てる ・人間以外の生物にも配慮する気持ちを養える	15 陸の豊かさも守ろう



③

農業の振興を図ろう

☑行政の
取組



達成目標	指標項目	指標（K P I）		取組内容
		基準値（R4）	目標値（R8）	
増加傾向にある遊休農地の拡張の抑制に努める	遊休農地面積	686ha	600ha	農地パトロールを強化して田畑の荒廃を留めます
		参考値（R5） 685ha		
新規就農者数を年間当たり6人増加させる	新規就農者数	6人増	5年間で30人増	農業指導士を確保します
		参考値（R4 + R5） 10人増		
農業指導士とは？・・・優れた農業経営を行いつつ、新規就農者等の育成に指導的役割を果たし、各都道府県の知事から指導農業士として認定された農業従事者のことです！				市内外へ農地保全管理の重要性や農業の魅力を周知する活動を行います



③ 農業の振興を図ろう



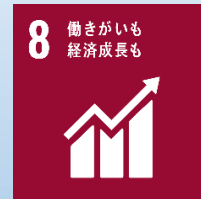
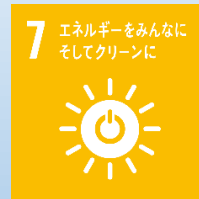
私たちの 私たちによる 私たちのための S D G s

No	これからやってみよう！！	期待できる成果↑	S D G s のゴール
1	■ 庭やプランターで野菜を作ってみよう	・「食の大切さ」を知ることができる ・食べ物のありがたさを理解することができる	2 飢餓をゼロに
2	■ 自分や家族が持っている農地について把握しよう	・受け継がれてきた財産の認識とその地の生産性を確認できる	4 質の高い教育をみんなに
3	■ 新聞・広報誌等から、住んでいる地域の「農」についての情報を得よう	・農産物の生育に必要な知識と技術を習得できる ・農地に関わる地域の特長を理解することができる	15 陸の豊かさも守ろう



4

健康づくりをしよう



行政の取組

達成目標	指標項目	指標 (KPI)		取組内容
		基準値 (R4)	目標値 (R8)	
様々な媒体を活用した健康情報の数値化による啓発を図る	平均歩数の増加	1人当たり 52,970歩/月	1人当たり 100,000歩/月	健康アプリの登録に向け普及啓発を進めます
		参考値 (R5) 56,498歩/月		
	病気の早期発見に伴う外来患者数の増加	281.8人/日	320.0人/日	病気予防と健康増進のための情報を提供をしていきます
		参考値 (R5) 307人/日		
若年層への食文化の継承による食育を推進する	学校給食への大洲産食材使用率の向上	69%	77%	地産地消を促進する献立の作成と周知に努めていきます
		参考値 (R5) 62%		



4

健康づくりをしよう



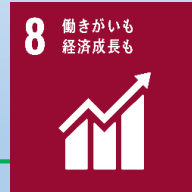
私たちの 私たちによる 私たちのための S D G s

No	これからやってみよう！！	期待できる成果↑	S D G s のゴール
1	■ 歩く習慣を身に付けよう - 健康アプリをダウンロードしよう - 歩くことのメリット、良い歩き方を知ろう 【健康アプリQRコード】 	- 基本動作の「歩く」ことで得る健康を知ることができる - 徒歩の行動範囲のわずかな変化に気付くことができる	3 すべての人に健康と福祉を  4 質の高い教育をみんなに 
2	■ 市の広報誌等のレシピを見て、旬の食材を使った料理を作ってみよう	- 栄養価のある食事を取れる - 作り過ぎない、食べ過ぎない習慣が身に付く	11 住み続けられるまちづくりを  12 つくる責任 つかう責任 
3	■ 自分の人生設計、生き方を家族と話してみよう	- 年齢に応じた将来の自分を確認できる - 自分の身体の状態を理解できる - 災害や緊急時に避難できる体づくりを普段から意識することにつながる	13 気候変動に具体的な対策を 



⑤ 健康づくりをしよう

・福祉を全ての人に



行政の取組

達成目標	指標項目	指標 (KPI)		取組内容
		基準値 (R4)	目標値 (R8)	
生活習慣病を予防・改善し、健康寿命の延伸を目指す	国民健康保険被保険者の特定健康診査受診率	25.4% 参考値 (R5) 31.3%	45%	受診対象者へ人工知能を活用した啓発を行い、特定健康診査の受診率の向上を目指します
保育の質向上によって、一人ひとりに寄り添った保育を実施する	1施設当たりの平均保育士数	11人 参考値 (R5) R4同値	13人	ICT化を進め、施設の再編及び潜在保育士の掘り起こし等により、保育の確保に努めます
認知症に対する理解を深め、地域で一体となり認知症の人や家族を支える体制づくりを目指す	認知症サポーター養成講座受講者数 (延べ数)	2,371人 参考値 (R5) 2,568人	3,000人	認知症サポーター養成講座を行い、認知症が正しく理解されるよう受講者数の増加を図ります

保育業務のICT化とは？・・・児童の登降園時間を電子記録化したり、保育士の事務作業をシステム化することです！



⑤ 健康づくりをしよう

・福祉を全ての人に



私たちの 私たちによる 私たちのための S D G s

No	これからやってみよう！！	期待できる成果↑	S D G s のゴール
1	■ 通勤は徒歩or自転車にしよう！ ～健康づくりとCO2削減～ (季節を感じよう、ポイント活用等)	・体力向上と環境負荷の低減の二刀流を達成できる ・歩いてポイント、乗ってポイントをもらえる	1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに
2	■ 大洲産のものを食べよう！ (たくさんの野菜をバランス良く、食文化の継承)	・新鮮で安価な食材で、健康な体力づくりにつながる ・食料品価格の安定を維持できる ・持続可能な生活スタイルを理解できる	3 すべての人に健康と福祉を 8 働きがいも経済成長も
3	■ 「早期発見、健康寿命の延伸」のため、健診を受けよう！	・医療費の伸長率の抑制につながる ・働く喜びとともに、安定した生活が送れる	12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を



⑥ 災害に強いまちをつくらう

☑行政の取組



達成目標	指標項目	指標（K P I）		取組内容
		基準値（R4）	目標値（R8）	
情報伝達・職員参集訓練を実施し、訓練対応人数を増員する	情報伝達・職員参集訓練の実施	（研修や訓練参加により職員の防災意識を高め、安否確認や情報伝達が容易に行えるようシステムの研究を進める） 80%		情報伝達・職員参集訓練を実施します
避難行動要支援者の個別避難計画の作成率を向上する	避難行動要支援者の個別避難計画の作成率	27%	70%	避難行動要支援者の「個別避難計画」作成を促進し、支援体制の構築を図ります
		参考値（R5） 49%		
農地を守りつつ、多面的機能のうち、水田貯留機能を向上させ流域治水の改善を図る	田んぼダム実施 水田面積	0.4ha	50ha	水田貯留(田んぼダム)の検討を進めていきます
		参考値（R5） 10.9ha		
田んぼダムとは？・田んぼが元々持っている水を貯める機能を利用し、大雨時に田んぼに一時的に雨水を貯めることで、排水路や河川への流出を抑制し、洪水被害を軽減する取組です！				



⑥ 災害に強いまちをつくらう



私たちの 私たちによる 私たちのための S D G s

No	これからやってみよう！！	期待できる成果↑	S D G s のゴール
1	■ 防災チェックリストを確認しよう	・自分の防災意識とともに共助の体制を高めることができる	4 質の高い教育をみんなに 11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさも守ろう
2	■ 自分の防災対策を家族に発表しよう	・もしもに備えた自分の災害対策や避難内容を正確に伝えられる ・安全に絶対はないことを家族と話し合える ・異常気象の発生頻度の高まりに危機感を持てる	
3	■ 山や農地が荒れないようにしよう	・古くから森林や農地が有してきた保水機能や景観の保全につながる ・森林や田畑に生息する在来生物の生態系の保全につながる	



7

誰もが働きやすい 環境をつくろう

行政の取組

4 質の高い教育を
みんなに



5 ジェンダー平等を
実現しよう



10 人や国の不平等
をなくそう



17 パートナースhipで
目標を達成しよう



達成目標	指標項目	指標 (KPI)		取組内容
		基準値 (R4)	目標値 (R8)	
女性が働きやすい職場環境を充実させる	ひめボス宣言事業所を目指そう！	制度無し	基本認証20件 上位認証4件	女性が働きやすい職場環境の充実を目指します
ひめボス宣言事業所とは？・・・愛媛県が女性活躍及び仕事と家庭生活等の両立に取り組む事業所を認証し、その取組を強力に後押しすることで、誰からも選ばれる魅力的な事業所を増加させ、全ての労働者にとって子どもを産み育てやすい環境づくりを促進することに取り組む事業所です！		参考値 (R5) 基本認証 12件、上位認証 0件		
市役所から始める！ひめボス宣言の実践する	選ばれる職場をめざそう！	年休平均取得日数 10.1日	平均年休取得日数 12日	働きやすく就業継続できる職場環境を整備し、家庭と仕事を両立できる職場づくりに取り組みます
学習・体験機会を提供する	知ろう！学ぼう！ 実践しよう！	参考値 (R5) 10.5日	学習機会10回 (内容の充実)	学習・体験の機会を提供できるように努めます
		参考値 (R5) 8回		



⑦ 誰もが働きやすい 環境をつくろう



私たちの 私たちによる 私たちのための S D G s

No	これからやってみよう！！	期待できる成果↑	S D G s のゴール
1	■ ひめボス宣言事業所認証制度を正しく理解しよう	・弱い立場の人を守れる仕組み作りができる ・意思決定の場面にみんなが平等に参画できる ・規模の大小に関係なく公平な市場参加ができる	 
2	■ 自分たちのジェンダーについて考えてみよう	・仕事の内容と職場のポジションを適正に判断できる ・多様性のある働きがい社会で考えることができる ・健全な会社運営が、思いやり・助け合う社会づくりにつながる	 
3	■ 働く職場の魅力をPRしよう	・若者の雇用や教育に努め、より良いまちづくりにつなげることができる ・職場の自慢を見つけ、これを強みに就職市場にアピールできる ・技術や知識を独占するよりも共有する価値観が持てる	 
			 



⑧ 観光まちづくりを進めよう

☑行政の取組



達成目標	指標項目	指標 (KPI)		取組内容
		基準値 (R4)	目標値 (R8)	
経済波及が見込めるイベントを企画・立案する	イベント企画・立案数	0 参考値 (R5) R4同値	6件(累計)	アンケートの実施及びイベントの企画・立案をします
地域に誇りを持つ 気運を醸成する	ワークショップ、シンポジウム及び啓発活動の回数	1 参考値 (R5) R4同値	6回(累計)	歴史的風致の維持・向上のための環境整備及び啓発を図ります
歴史的風致とは？ … 「地域固有の歴史と伝統を反映した人々の活動」と「歴史上価値の高い建造物とその周辺の市街地」が一体となって形成してきた良好な市街地環境のことです！ 大洲市内では、旧大洲城下町などのエリアを指します。				シンポジウムを開催します



⑧ 観光まちづくりを進めよう



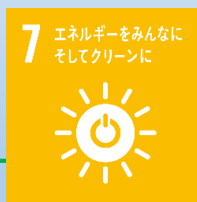
私たちの 私たちによる 私たちのための S D G s

No	これからやってみよう！！	期待できる成果↑	S D G s のゴール
1	■ 来訪者に喜んでもらおう ・毎日ゴミを拾おう ・あいさつをきっかけに会話をしよう	・清潔感のある街並みや道路、気持ちの良いあいさつでまちの好感度が向上する	3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに
2	■ 環境に配慮したまちづくりの取組を行おう ・マイボトル、マイバックを使おう	・将来にわたって安心して暮らせる環境づくりにつながる	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを
3	■ 大洲の良さを知ろう ・大洲の歴史を学ぼう ・自然に触れるような野外活動しよう ・世代間交流のある地域行事に参加しよう ・郷土料理(いもたきなど)を作って食べよう	・豊かな自然、歴史や風土を大切に守りながら、「住んでよし」「訪れてよし」「働いてよし」のまちづくりの推進につながる	12 つくる責任 つかう責任



⑨ 住み続けられるまちに ・暮らしやすくしよう

行政の 取組



達成目標	指標項目	指標（K P I）		取組内容
		基準値（R4）	目標値（R8）	
公共交通圏の利用人口の増加を促進する	公共交通空白地住民への出前講座の実施回数	0回	4回	デマンド型交通を導入した地区の住民に対して利用方法の出前講座を実施します
		参考値（R5） 1回		
有収率の向上と施設の適正化を図る	有収率	74.1%	80.0%	老朽管の更新と有収率の向上を目指します
		参考値（R5） 70.4%		
有収率とは ？・・・給水する水量と料金として収入のあった水量との比率です！				
市街地の渋滞緩和対策の振興を図る	市街地における渋滞緩和対策の道路整備率	13%	52%	市街地における渋滞緩和対策の道路整備を行っていきます
		参考値（R5） R4同値		



⑨

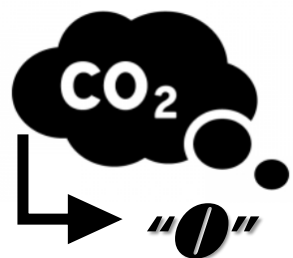
住み続けられるまちに

・暮らしやすくしよう



私たちの 私たちによる 私たちのための S D G s

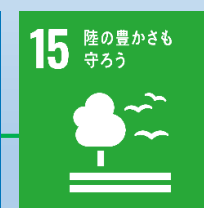
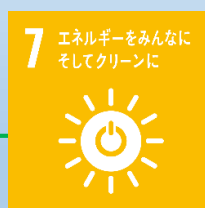
No	これからやってみよう！！	期待できる成果↑	S D G s のゴール
1	■ デマンド型交通の出前講座（利用方法の説明）に参加し、積極的に利用しよう	・デマンド型交通の利用について理解し、今日行くところ、今日の用事をつくることできる ・今の居住地に暮らせる喜びを分かち合える	3 すべての人に健康と福祉を 6 安全な水とトイレを世界中に
2	■ 環境配慮型の電気製品を利用するように検討しよう	・限りある資源を共有し、省エネの意識と行動につなげることができる ・節約できるエネルギーを正しく理解できる	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 11 住み続けられるまちづくりを
3	■ 自転車や徒歩、公共交通機関を利用しよう	・公共交通機関を利用することで、CO2の排出削減に寄与することができる ・公共交通機関の維持に貢献できる	13 気候変動に具体的な対策を



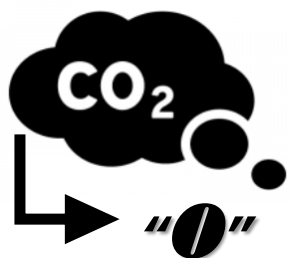
10 カーボンニュートラルを実現しよう

カーボンニュートラルとは？・・・二酸化炭素に限らず、温室効果ガスの排出を全体としてゼロとすることです。やむを得ず排出する温室効果ガスは同じ量を、吸収・除去することで、差し引きゼロを目指します！

行政の取組



達成目標	指標項目	指標（KPI）		取組内容
		基準値（R4）	目標値（R8）	
市の事務事業から発生する温室効果ガスの総排出量を2030年度までに2013年度比▲51.0%を達成する	温室効果ガスの総排出量の削減（2013年度比）	▲21.0%	▲37.5%	再生可能エネルギーの導入に努めます
		参考値（R5） ▲33.8%		
電気自動車とハイブリット車の導入を積極的に進め、2030年までにガソリン使用量を減少させる	公用車のガソリン使用量の減少	9,743L	8,000L	公用車の電気自動車とハイブリッド車での更新計画を立てます
		参考値（R5） 10,910L		
3R+1Rを推進し、可燃ごみを削減する	古紙類等回収量の増加	453t	650t	古紙回収率の向上を目指し、取組の実践と啓発活動を実施します
		参考値（R5） 395t		
3R+1Rとは？・・・3R（リデュース＝抑制，リユース＝再利用，リサイクル＝再資源化）に加えて1R（リニューアブル＝再生可能資源への切替）のことです！				



10 カーボンニュートラルを実現しよう



私たちの 私たちによる 私たちのための S D G s

No	これからやってみよう！！	期待できる成果↑	S D G s のゴール
1	■ マイバックを持参しよう	・温室効果ガスの排出量の削減や、海洋プラスチックの抑制ができる	11 住み続けられるまちづくりを 
2	■ ゴミ出しの分別ルールを守ろう (捨てる前に利活用を考える)	・ゴミの分別を再確認し、ゴミの削減や資源の再利用につなげられる	12 つくる責任 つかう責任 
3	■ ゆとりのある運転を心がけよう (エコ運転につなげよう)	・車の運転時など、急加速等による無理な運転、無駄な燃料消費が防止できる	13 気候変動に具体的な対策を 



11

主権者として 公平性を進めよう

行政の取組

4

質の高い教育を
みんなに



10

人や国の不平等
をなくそう



11

住み続けられる
まちづくりを



16

平和と公正を
すべての人に



達成目標	指標項目	指標 (KPI)		取組内容
		基準値 (R4)	目標値 (R8)	
税制度(発災時の軽減措置等)の情報を発信する	広報誌・公式HPへの掲載数	0	1	税制度の情報提供を行います
		参考値 (R5) R4同値		
人権に関する講座等への参加人数の増加を目指す	人権に関する講座などへの参加人数	21,823人/年	38,000人/年	人権啓発事業及び隣保館事業を積極的に実施します
		参考値 (R5) 31,125人/年		
商業施設等への期日前投票所の設置	商業施設における期日前投票所の箇所数	0箇所	1箇所	商業施設での期日前投票所の設置を検討します
		参考値 (R5) 選挙なし		



11

主権者として 公平性を進めよう



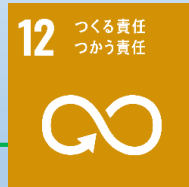
私たちの 私たちによる 私たちのための S D G s

No	コレからやってみよう！！	期待できる成果↑	S D G s のゴール
1	■ 散歩・散策を楽しみ、身近な地域に目を向けよう	・地域に隠れている魅力を発見し、自分の感性を掘り起こせる ・これからもここで暮らそうと思える安心感を持つ	3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに
2	■ 地域行事・イベントへ参加しよう	・地域や地元の歴史を学び、後世へと継承する伝統の大切さを養える ・イベントの参加者と意見交換や議論することで、様々な年代の人たちとの交流が生まれる	5 ジェンダー平等を実現しよう 10 人や国の不平等をなくそう
3	■ 時事情報に触れよう	・これまでの価値観に、さらに時代の変化に応じた新常識を加えることができる ・世界の平和、日本の平和、地域の平和のために自分にできることを見つめ直せる	11 住み続けられるまちづくりを



12 美しく豊かな海を守ろう

行政の
取組



達成目標	指標項目	指標 (KPI)		取組内容
		基準値 (R4)	目標値 (R8)	
市内の学校や地域住民等と協力し、海岸及び肱川河口の清掃活動を行い、ゴミの量の調査を行う	海岸及び肱川河口のごみの回収量	570kg	600kg	海岸の清掃活動を行い、漂着ゴミを回収し、ゴミの量を調査します
		参考値 (R5) 665kg		
漁業者と連携して取り組む「海岸漂流物地域対策事業」を推進し、ゴミの回収量を増加する	漂流ごみの回収量	2,220kg	2,700kg	漁業者と連携して取り組む「海岸漂流物地域対策事業」を推進します
		参考値 (R5) 1,222kg		
海洋ごみの発生元を断つための啓発イベントを継続して開催し、広く周知する	イベント参加者数	700名 (R5値)	1,000名	海洋ごみの7～8割は、内陸で発生しているといわれており、ごみの削減を促すイベントを開催します



12 美しく豊かな海を守ろう



私たちの 私たちによる 私たちのための S D G s

No	これからやってみよう！！	期待できる成果↑	S D G s のゴール
1	■ ごみのポイ捨てをやめよう	・漁業や水産事業の重要性と海の持つ美しさを大切にできる考え方ができる ・海の生態系を守り、これ以上の海洋汚染を止める	1 貧困をなくそう 4 質の高い教育をみんなに
2	■ 油や洗剤は適量を使うようにしましょう	・油や洗剤の浄化に必要な水の量を意識するようになる ・今の豊かな生活は安定した水の供給の下にあると感謝できる	6 安全な水とトイレを世界中に 11 住み続けられるまちづくりを
3	■ フードロスを減らして、食材は余ることなく食べよう →「モットイナイ」を減らそう	・普段の食事があることは当たり前ではなく、食べることのできる喜びを感じる ・世界にも通じる「モットイナイ」の周知と、これを解決できるのは、自分次第だと責任感を持つようになる	12 つくる責任 つかう責任 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさも守ろう

うちの
会社でやって
みるとしたら...

もう、やってる
ことがSDGs
じゃん

今度、学校で
話してみよう

SDGsって
難しいと
思ってた

見つけた！
今日からやろう！私のSDGs！



私が望む 未来を描くと...	そのために、取り組んで みようと思うことは...	いま、自分ができることは...	17のゴールに 当てはまるのは...
ごみが減ると いいんだけど...	ごみを減らすために、自分ができる ことを調べてみよう！	生ごみの一部は、たい肥にすることができるんだ！ →その知識と方法を勉強してみよう！	3 ページを振り返って見たら... どのゴールを達成できるのかな？

例えば



大洲市のSDGsの 実現に向けて期待すること



SDGsは、誰一人取り残さないという基本的な理念に基づいた、環境、社会、経済面における行動目標です。17のゴールを実現することによって一人一人の幸福度を上げていながらウェルビーイングな社会づくりを目指すことです。

大洲市のSDGsへの取組は、ワーキンググループでの精力的な協議により12の目標を設定しています。それらは、環境側面においては環境負荷の低減や農業のもつ多面性を生かすこと、気候変動に寄与するカーボンニュートラルの実現、美しい海を守っていくこと、社会的側面においては、健康や福祉の実現、災害に強くて働きやすい環境づくり、住み続けられ、暮らしやすくするとともに主権者として公平性を実現すること、経済的側面においては、大洲市の得意分野である観光まちづくりを選定し、それぞれのゴールに向けたアクションプログラムを作成し、それらの実効性を高め、評価できるようにするためのKPI(数値目標)を設定しています。

ゴールの実現に向けては、市民や企業の皆様の協力がどうしても必要であり、それらの多様な人たちが協働することによって可能になるものと思います。協働によるこれからの取組が進展していくことを期待しています。



愛媛大学 地域協働推進機構 客員教授
前田 眞 先生



「SDGs 日本モデル」宣言 に賛同しています

私たち自治体は、人口減少・超高齢化など社会的課題の解決と持続可能な地域づくりに向けて、企業・団体、学校・研究機関、住民などとの官民連携を進め、日本の「SDGsモデル」を世界に発信します。

- 1 SDGsを共通目標に、自治体間の連携を進めるとともに、地域における官民連携によるパートナーシップを主導し、地域に活力と豊かさを創出します。
- 2 SDGsの達成に向けて、社会的投資の拡大や革新的技術の導入など、民間ビジネスの力を積極的に活用し、地域が直面する課題解決に取り組めます。
- 3 誰もが笑顔あふれる社会に向けて、次世代との対話やジェンダー平等の実現などによって、住民が主役となるSDGsの推進を目指します。

■ SDGs 日本モデル宣言とは・・・地方自治体が国や企業、団体、学校・研究機関、住民などと連携して、地方からSDGsを推進し、地域の課題解決と地方創生を目指していくという考え・決意を示すものです

令和7年1月

☆ 発行・・・大洲市 総合政策部 企画情報課 ☆

